

2021年度第1回教育課程編成委員会 議事録

日時 2021年7月7日(水) 14:00~16:00

場所 愛仁会看護助産専門学校 会議室

出席委員 公益社団法人大阪府看護協会 会長 高橋弘枝  
一般社団法人日本看護学校協議会 前会長 池西静江  
社会医療法人愛仁会 尼崎だいもつ病院 院長 松森良信  
社会医療法人愛仁会 愛仁会本部 看護部長 西原伸美  
愛仁会看護助産専門学校 学校長 清水富男  
愛仁会看護助産専門学校 副学校長 木村幸子  
愛仁会看護助産専門学校 看護学科 教育主事 真島久美子  
愛仁会看護助産専門学校 看護学科 教育主事 増本綾子  
愛仁会看護助産専門学校 助産学科 教育主事 大石有香  
愛仁会看護助産専門学校 看護学科 実習調整者 小林理絵  
愛仁会看護助産専門学校 看護学科 専任教員 西山玲子  
愛仁会看護助産専門学校 事務部長 松田孝緒  
愛仁会看護助産専門学校 事務 川口璃子(書記)

議事次第

1. 学校長挨拶

学校長から開会の挨拶がなされた。

2. 第1回テーマ「地域に貢献できる人材を育成するには 教育内容編」

木村副学校長、真島教育主事・増本教育主事から資料について説明がなされた。

①テーマ設定の理由

②新カリキュラムの概要

③地域・在宅看護論の考え方(フィールドワーク演習を中心に)

④ヘルスプロモーション実習について

⑤入退院支援実習について

3. 意見交換は以下のとおりである。

I. 新カリキュラムについて

- ・1年次に行う「臨床判断演習」とは何か、1年次に臨床判断は難しいように感じるが、どの時期にどのようなことをするのか。
- ・「臨床判断演習」は、1年次の基礎看護学実習Ⅱで看護過程の展開が必要となり、臨床判断能力を養うというところがカリキュラム改正の狙いとなっていることもあり、実習前に事例演習を通して看護過程の思考と同時に事例で学んでほしいため、科目建てに至った。また、「解剖生理学」や「病態生理学」に外部講師だけではなく専任教員も担当し、専任教員が解剖生理や病態生理と技術を繋ぐ役割を検討している。「臨床判断演習」は、従来「基礎統合演習」として行っており、看護過程の展

開・思考過程に加え、技術演習・技術試験（OSCE）を行い、リフレクションを含め再計画・実施する。事例に応じた生活援助を行う予定であり、「基礎看護学実習Ⅱ」につなげたい。カリキュラム改正で、臨床判断を強化する狙いがあるため、科目名称とした。

## II. 地域・在宅看護論の考え方について

- ・「地域と看護」1年次のレベルでは「人々の暮らしと地域のつながりを理解する。」が良い。
- ・「生活と健康」と「生活と環境」で何を求めているのかわかりにくい。生活がどのように地域とつながり、差別化できるのか学生にとっては難しいのではないかと。科目の狙いは理解できる。

## III. ヘルスプロモーション実習について

- ・「ヘルスプロモーション実習」はどこから作成に至ったのか。
- ・今までのカリキュラムにおいて、予防に関するものが無かったが、色々な場面の予防を見せたいと思いがり科目建てに至った。
- ・子育てと高齢者だけでなく、学校・産業・福祉施設・児童相談所等に看護師配置を必須にしてほしいと思いがり、学校保健や産業保健も見してほしい。
- ・大きい企業であれば可能ではないか。今は実施ができなくても、地域での看護職の活動の場が見えるようにカリキュラムに記載しても良いのではないかと。
- ・実習と同様に行うことは難しいので、少人数で分散して行き、共有・発表できれば良い。

## IV. 入退院支援実習について

- ・評価の目安や実習内容を考えていく中で、一貫性があるのかどうかご教授いただきたい。
- ・入退院支援室で学ばせるのは効率が良いが、1人の患者の一連の流れを追っていくのに、入院支援と退院支援を別に学ばせると途中で途切れてしまう。在宅療養を学ばせる外来が抜けている。訪問看護の前にはいかに外来に通い、在宅療養の確認をするかが大事であり、その現場で働く看護師の後ろで学ばせなければならない。患者を入院・退院時の点として捉えるのではなく、その人の環境を見据えた線に関わるように意識づけをしてほしい。外来は地域医療構想で途切れるものを繋げる役目があり、入退院支援をひろげてつなげる実習にしてほしい。患者さんの状況を判断・調整できるジェネラリストが外来にいれば、外来を通して線につながっていく。点でなく、病院から地域へ連続して学べるとよい。

## V. その他

- ・愛仁会の恵まれた環境で充実した教育を行うことができるので、新カリキュラムにおいても学校の魅力を伝えられる。
- ・実習施設も充実しており、具体的な卒業生像を踏まえてカリキュラムを作成してほしい。
- ・今後看取りが増えていく中で、大阪府看護協会では訪問看護において新人を受け入れている。引き出しが多く、患者さんに選択肢を与えることができる看護師が良い。色々な所で勉強しながら、訪問看護や看取り、その人に応じたケアができる看護師になってほしい。新人を育てるために、現場が努力していかなければならない。

## 次回会議予定

日時 2021年12月8日（水曜日）14時～16時

場所 愛仁会看護助産専門学校 会議室

テーマ 第2回テーマ「地域に貢献できる人材を育成するには 評価方法編」 以上